

はりまや町一宮線（はりまや工区）の整備のあり方

これまでの経緯

H12 事業着手

H15 工事着手

H23.3 南側区間工事中断
(北側区間供用開始)

新堀川の水辺空間が大切
であるという声の高まり

H20～
新堀川環境調査
交通量調査

約10年にわたり
データを蓄積

H10～
シオマネキの
生息調査
(浦戸湾周辺)

約20年にわたり
データを蓄積

はりまや工区の工事中断区間の整備のあり方について、
様々な立場の方からご意見をいただく時期が到来

はりまや町一宮線(はりまや工区)まちづくり協議会

第1回(平成29年6月20日)～第5回(平成30年2月20日)

- 委員：地域住民の代表者、環境保護活動に取り組む者、
学識経験者、行政関係者 計12名

整備のあり方についてのパブリックコメント (2回)

新堀川を考える新堀小OB・OG有志の会からの意見

まちづくり協議会から知事へ提言

(平成30年2月21日)

高知市の意見を聴く (平成30年4月9日)

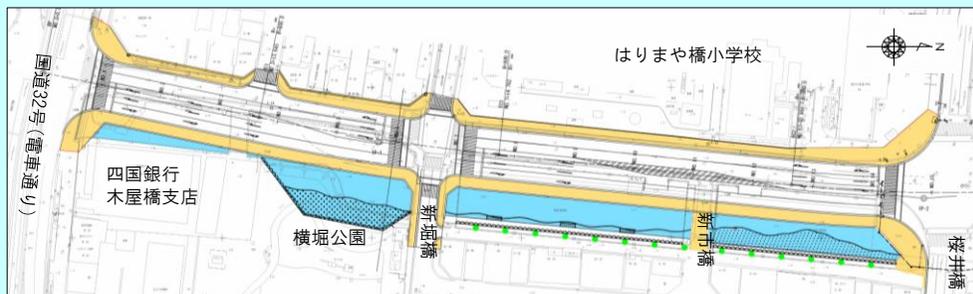
県の方針を明らかにする時期

まちづくり協議会からの提言 (抜粋)

- ①交通の状況、②希少動植物、③歴史・文化、④まちづくり の4つのテーマで議論を深めた。
- この4つのテーマは全て重要だが、立場によって思い入れや価値観が異なるため、全てのニーズを100%満たすことはできない。一つのテーマを追求することで、他の3つのテーマに不満を大きく残すことは適切ではない。
- それぞれのテーマの重要性を最大限に尊重し、全体として調和のとれた望ましい整備のあり方として、「新たな道路計画案」が相応しいと考える。

「新たな道路計画案」

希少動植物が生息・生育する自然環境や新堀川界隈に残る史跡等を守り、再生するとともに、これらを活かしたまちづくりを実現し、住民にとって安全で安心できる地域や道路づくりを最大限に実現できる最善の案



まちづくりの主体である高知市の意見 (要約)

- 子供たちの安心・安全のため、早期の整備が必要。
- 南北交通のスムーズな流れのためにも必要。
- 環境・歴史の面で相当な配慮がなされた計画。
- 横堀公園のリニューアルも含めてまちづくりに取り組んでいきたい。

- 「まちづくり協議会」からの提言や高知市の意見を踏まえ、議論の過程を今一度再確認
- 希少種や掘割の保全方法について改めて議論